

肺癌新薬

—2015 市場完全予測—

好評
発売中!

プロダクト・ポートフォリオ・マネジメントに最適の一冊

自社新薬の事業性・市場性がどれくらいの価値を有しているか、ご存じですか？

◆開発中新薬の獲得可能患者数を一挙掲載!!

- ◆遺伝子変異阻害剤が獲得できる「椅子」は絶えずひとつだけ
壮絶な陣（患者）取り合戦が繰り広げられる
決めては予後の延長効果
- ◆理論値市場規模
EGFR 阻害剤 1,800 億円、ALK 阻害剤 400 億円
この市場規模の大きさは高薬価のお蔭か？
達成不能は高薬価のせい？ あるいは施設の能力不足？
- ◆2015 年肺癌・総患者数の 14.1%が EGFR 陽性患者数
肺腺癌の EGFR 遺伝子変異陽性率 45.2%
- ◆2015 年肺癌・総患者数の 1.4%が ALK 陽性患者数
肺腺癌の ALK 遺伝子変異陽性率 4.0%

◆肺癌の背景因子別患者数を全算出!!

- ◆各種登録調査では絶対に読み取れない肺癌患者数の実態を、
余すことなく浮き彫りに！
- ◆各種登録調査の問題点を徹底分析し、整理統合。
各年生存率を用いて、あらゆる分野の患者数を算出

—我が国初のマーケティング資料がここに完成—

そのすごさを手にとって感じて下さい

本書掲載「新薬の売上予測」を自社開発品の優先づけ決定の指標として
利用すれば、事業性評価を明確に数値化することができ、
開発新薬の集中化・効率化に役立ちます。

☆☆この一冊がそれを可能にします☆☆

2015.11.30 発売

A4 / 162頁

CD-ROMで提供
(PDF file)

冊子体つき
(簡易製本)

定価 98,000円
(税抜き)

開発中新薬の市場性評価はこの一冊で！ 2015～2025 年までを予測！

- ◆EGFR 阻害剤、ALK 阻害剤、抗 PD-1 抗体など、話題の新薬の市場を完全予測!!
- ◆EGFR 陽性率、ALK 陽性率などを肺癌関連学会 3,294 演題を探索し、陽性率を提示

肺癌・総患者数の45.9%がターゲット⇒開発新薬はこの市場の争奪戦

肺癌は胃癌、大腸癌と比べて予後が悪い(5年生存率 32%)

その要因の第一が切除率の低さだ。切除率は 42%。胃癌(約 80%)の約半分だ。手術できなければ当然、薬物療法あるいは放射線療法に依存せざるを得ない。また、たとえ切除できても再発(再発率 28.8%)し、そのうち非切除になり死亡する患者は 67%存在する。これら患者も薬物療法の対象者だ。

こうした薬剤を必要とする非切除患者は肺癌・総患者数の 45.9%を占める。それら患者を弊社では「化療延命患者」と命名した。その化療延命患者 15 万 5 千人が新薬開発のターゲットとなる患者だ。

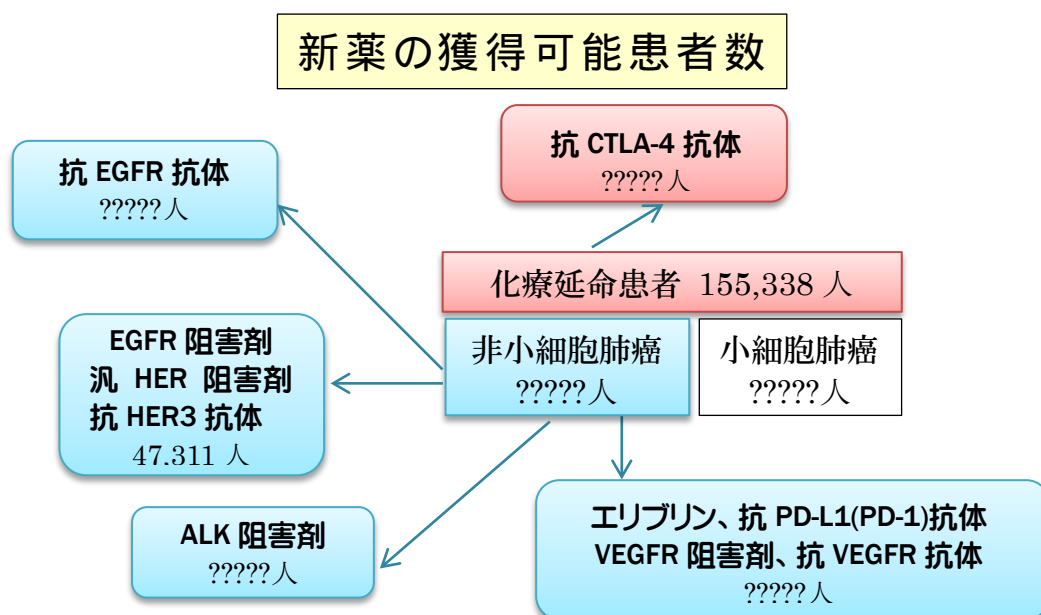
エンドポイントは PFS⇒1～2カ月の延命でも OK

新薬のエンドポイントは「延命」だ。新薬の戦いは OS(全生存期間)ではなく、PFS(無増悪生存期間)だ。PFS で有意性が証明されれば(たとえ 1～2 カ月でも)認可される。これが肺癌新薬の現状だ。

獲得患者数、数千人でも百億円の売上げ可能

肺癌は他の癌腫に比べても遺伝子変異が多いタイプの癌である。特定の遺伝子変異に効果がある薬剤であれば、それだけで有意性をもつ。だが、効果は長続きしないため、次から次へと異なる作用機序の薬剤が必要となる。そのため、新薬へのニーズは高く、認可の壁は薄い。但し、1 人の患者に使用される遺伝子変異阻害剤は絶えず 1 剤のみだ。阻害剤同士の併用はない。

非切除患者が多く、遺伝子変異が多い肺癌は、新薬の市場性が大きく、有望かつ参入価値が高い。



市場規模は、<1 日当り薬価×投与期間×獲得患者数>で算出できます

肺癌患者数をここまでブレイクダウンして算出した資料は初めて!

わが国初、肺癌・総患者数、切除患者数、再発患者数、組織別患者数、Stage 別患者数など
さまざまな患者背景別の患者数を全網羅!

全種類の患者数、一望に!!

- ◇新薬の対象患者数特定に必要な、あらゆる患者数を算出
- ◇切除/非切除別、組織別、Stage 別、遺伝子陽性患者数など、さまざまな切り口から患者数を算出

新たな発想で、患者数を特定

- ◇再発非切除患者、化療延命患者など、新たな患者群を定義
- ◇今まで明確化されていなかった患者数を特定

遂に判明：再発非切除患者数

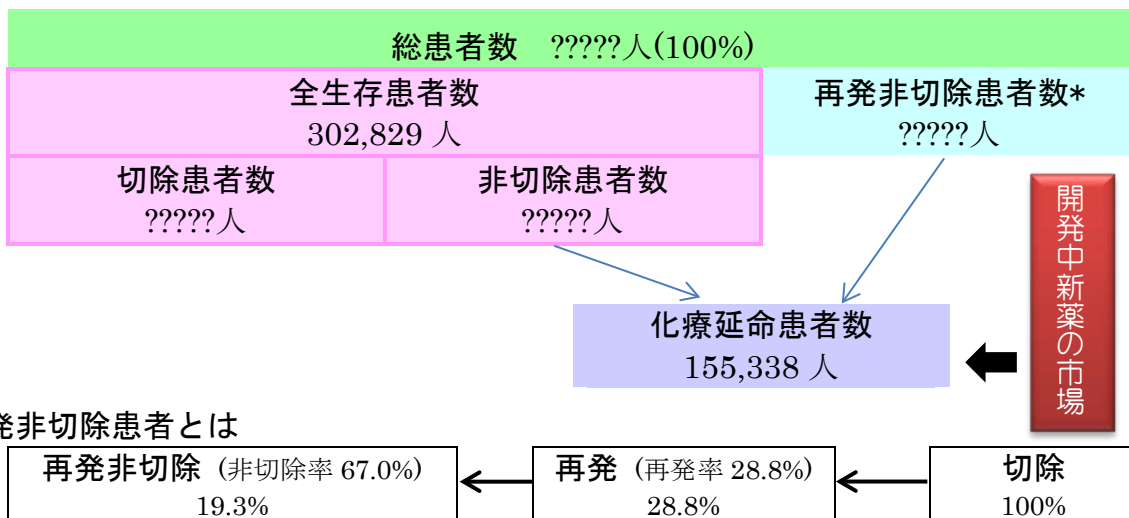
- ◇切除例の 28.8%⇒再発患者
- ◇切除例の 19.3%⇒再発非切除患者(再発死亡者から各年死亡率にて算出)

わが国初!! 今までブラックボックスの中だった化療延命患者数を特定

- ◇化療延命患者とは⇒全生存患者の非切除患者+再発非切除患者
- ◇15万5千人、これがズバリ!! 新薬対象患者の母数

患者種類別の数と比率

患者数は 2015 年

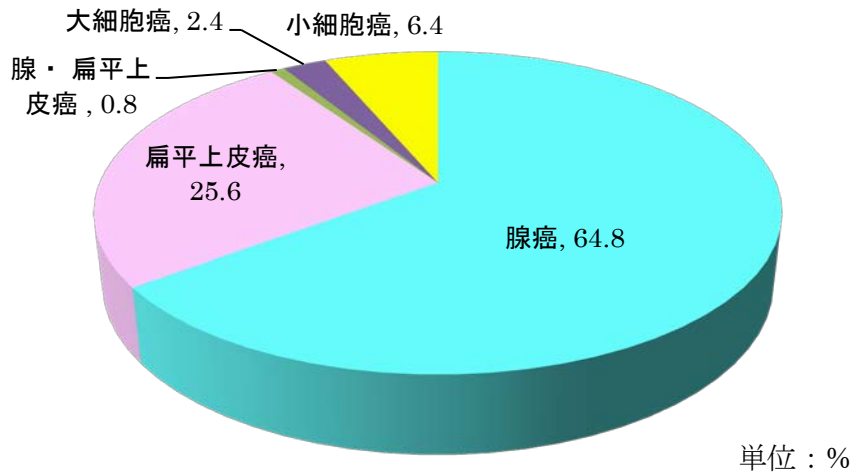


*再発非切除患者とは

切除例のうち、再発した患者(再発率 28.8%)で、再切除できなかった(非切除率 67.0%)患者

内容見本

(図-10) 全生存患者の組織別比率



(表-31) 組織別の再発非切患者数

(単位:人)

年	組織全体		腺癌		癌	
	全生存患者数	再発非切除	全生存患者数	再発非切除	全生存患者数	再発非切除
2015	302,829	35,256	196,291	18,094	77,430	12,598
2016	307,709	35,824	198,711	18,376	78,678	12,801
2017	312,589	36,308	201,130	18,659	79,926	13,004
2018	317,469	36,792	203,578	18,941	81,174	13,207
2019	322,350	37,276	208,943	19,224	82,422	13,410
2020	327,231	37,760	212,107	19,506	83,669	13,613
2021	332,110	38,244	215,270	19,789	84,917	13,816
2022	336,990	39,233	218,433	20,071	86,165	14,019
2023	341,870	39,801	221,596	20,354	87,413	14,222
2024	346,750	40,369	224,759	20,637	88,660	14,425
2025	351,630	40,937	227,923	20,920	89,908	14,628
年	腺・扁平上皮癌		大細胞癌		小細胞癌	
	全生存患者数	再発非切除	全生存患者数	再発非切除	全生存患者数	再発非切除
2015	2,362	410	7,389	3,493	19,357	1,228
2016	2,400	417	7,508	3,550	19,669	1,248

グラフ、表を多用し、カラーでわかりやすく表示

既刊資料の案内

2013 がん患者年報

—患者数と将来予測—

2013年8月20日発刊、A4/288頁
定価195,000円＋消費税

全がん腫88種類の患者数を算出
19癌腫については詳細な分析を掲載

「2013 がん患者年報」の英語版

Japan Cancer Report 2013

~Number of cancer patients
and its future projections~

August 20, 2013, A4/240 pages, US \$ 2,900

わが国初！ 患者数の実態を英語版で提供
全がん腫88種の患者数、19癌腫の分析を英語で掲載

お申込み用紙

ご注文は FAX、あるいは E-mail からお申し込み下さい。

FAX の場合、申込み用紙にご記入の上送信して下さい。

E-mail の場合、ご記入の申込み用紙を PDF にして、添付ファイルとして送信して下さい。

FAX 042-705-9741

E-mail(medss@medical-ri.com)

ホームページ URL <http://www.medical-ri.com/>

該当箇所をチェックして下さい。

『**肺癌新薬 - 2015 市場完全予測 -**』を申し込みます。

98,000 円 (税抜き) 冊数_____

『**2013 がん患者年報**』を申し込みます。

195,000 円 (税抜き) 冊数_____

住所 〒

会社名 :

部署名 :

氏名 :

TEL :

FAX :

E-mail address :

*E-mail address は必ず御記入下さい。「本製品」ならびに請求書を送付する際には E-mail にて通知致します。

〒252-0321 神奈川県相模原市南区相模台 1-1-1-501
TEL042-705-9740 URL <http://www.medical-ri.com>

 **株式会社** **メディカルリサーチ**
MEDICAL RESEARCH 会社